

「よく学び 心ゆたかに やりぬく子」



新座小だより



開校22年目

埼玉県新座市新座 3-4-1 TEL 048-478-2760
<http://www.c-niiza.ed.jp/e-niiza>

令和7年度9月号
児童数：288名

自分で「選ぶ」経験を

校長 小俣 優子



44 日間の夏休みが終わりました。

大きな事故等の報告もなく本日始業式を迎えられましたこと、大変嬉しく思っております。保護者の皆様に感謝申し上げるとともに、2 学期もどうぞよろしくをお願いします。

夏休み中、体育や生徒指導、学力向上、人権教育等、教職員で様々な研修を行いました。中でも、今年度 11 月に本校で開催される新座市の委嘱研究発表会に向け、大学の教授をお招きして授業について指導していただきました。

そのお話の中で、授業では子供たちが「選ぶ」活動を盛り込むことが非常に重要であると教えていただきました。例えばいくつかの選択肢の中から自分はこの場面を紹介したい、このやり方で調べたい、ここを発表したい・・・など自分で選びながら学習することで主体性が生まれ、学びがより深いものになってくるというものです。

日常生活の場でも「選ぶ」経験を

さて、日々の生活の中で、子供たちは大小様々な「選ぶ」経験をしています。例えば「今日の服はどれにしようかな。」「どの順番で宿題をしようかな。」「今日はどこで何をして遊ぼうかな。」など、選択する機会は数多くあります。

そのような場で、大人が先回りして決めてしまえば失敗や迷いを避けられるかもしれませんが、自分で選び、その結果を受け止める経験こそが、主体性や責任感を育てていきます。



8 月後半、体育の実技研修の様子です。

もちろん、大きな決断はまだ難しい年齢かもしれませんが。大切なのは、私たち大人は子供が自分で選べる範囲の中で、どちらでもよい選択肢を提示し、選んだ結果を尊重し見守ることです。

選んだことがうまくいかなかったときにも、「どうすればよかったかな?」と一緒に振り返ることで次への学びにつながります。

自分で決めるという経験は主体性を育む以外にも、「自分は大切にされている」と感じたり、「自分の決めたことをやり遂げた」という達成感や自信につながったりもします。

日常にある小さな選択で十分です。是非ご家庭でも自分で「選ぶ」経験を積ませていただければと思います。

◇「働き方改革」について

近年、国全体で「働き方改革」が進められています。学校においても教職員が心身ともに健康で、子供たち一人一人に丁寧に向き合えるよう働き方を見直すことが求められています。

本校でも、会議や研修の効率化、ICT の活用、行事の精選等に取り組んでいます。単に教職員の負担を減らすためではなく、時間を大切にし、教育の質をさらに高めていくための工夫を考え、見直しを図っていくことが重要だと捉えています。

保護者の皆様には連絡の時間帯などでご不便をおかけすることもあるかと思えます。また、行事等についても、見直しを図る中でご理解とご協力をお願いすることが出てくる場合がございます。

学校としては引き続き子供たちのよりよい成長と学びのために努めてまいりますので、ご家庭や地域の方におかれましては、これまで通り温かく子供たちを見守っていただけますと幸いです。

よろしくお願いいたします。